中央区文化･国際交流振興協会だより

協会創立２０周年記念号

Chuo Cultural And International Exchange Association



中央区まるごとミュージアム２０１０（日本橋周遊）

- 理事長挨拶　中央区長挨拶
- 協会 20 周年のあゆみ　年表
- 文化振興事業のあゆみ
  - ・古典芸能鑑賞会・コンサート・文化講座・特別文化講演会・中央区まるごとミュージアム
- 国際交流振興事業のあゆみ
  - ・国際交流のつどい・日本語教室・国際交流サロン
- 中央区　ひと　粋・活き　中央区女性海外研修者の会
- 平成 22 年度の事業報告と決算

No.56 December 2011

中央区文化･国際交流振興協会発行

ごあいさつ



中央区文化・国際交流振興協会

理事長　古屋　勝彦

中央区文化・国際交流振興協会は平成３年５月に創立され、今年で 20 周年を迎えることができました。これもひとえに、創立時から今日まで中央区をはじめ、区内の諸団体、区民の皆様、協会ボランティアの皆様の熱意とご尽力の賜と心から感謝申し上げます。

協会はこの 20 年間、関係者の皆様と協会ボランティアの協力を得て、事業の充実に努めてまいりました。

文化事業では、平成４年度に古典芸能鑑賞会と文化講座、９年度にコンサート、16 年度にＮＨＫとの共催で特別文化講演会を開始しています。

また、20 年度から中央区との共催で、区内の文化事業者や団体と連携を図りながら「中央区まるごとミュージアム」を区内全域で開催し大変好評を得ております。

一方、平成３年１月１日に 835 人であった中央区の外国人登録人口が、20 年後には 5,031 人と６倍に増加するなど、国際化が一段と進んでおります。

国際交流事業は、平成３年度に外国客船歓迎式、４年度に姉妹都市親善写真展、５年度に国際交流のつどい、18 年度に国際交流サロンを開始しています。

日本語教室は、９年度に日本語指導者養成講座を開催し、翌年に開始しました。現在では協会主催教室は３教室となっています。さらに、学習希望者の増加や多様化する要望に対応するため、21 年度にボランティアが自主的に開設・運営する教室の支援策を構築し、現在５教室が活動しております。

文化を基軸とした都心コミュニティの推進と、外国人との相互理解による多文化共生社会の実現に向け、協会の役割はますます重要になっております。

今後とも、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



中央区長　矢田　美英

中央区文化・国際交流振興協会が創立 20 周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。

貴協会は、区内に住み、働き、集う方々の主体的な文化活動や国際交流活動、また文化団体、ボランティアの育成や支援を通じて中央区における文化・国際交流の振興を図るため、平成３年５月に創立されました。

地域の自主的な文化・交流活動は、区民お一人おひとりにとってうるおいのある豊かな生活を送るうえで欠かせないものであります。貴協会もこうした観点から、「中央区まるごとミュージアム」や日本橋劇場での「古典芸能鑑賞会」などの文化振興事業、また日本語ボランティアの育成をはじめ、ボランティアの協力による日本語教室や国際交流のつどいの開催など、さまざまな事業を区と連携しながら実施し、地域の文化活動や国際交流の振興に大きく貢献されております。これもひとえに古屋勝彦理事長をはじめ、これまで運営に携わってこられた役員の皆さまや多くのボランティアの方々の献身的なご努力、ご協力のたまものと深く感謝・御礼申し上げます。

本区の人口は平成 18 年４月に長年の目標でありました「定住人口 10 万」を達成し、その後も 30 歳代から 40 歳代の働き盛りの層を中心に着実に増え続け、今や「12 万人都市」として大きく発展を遂げております。また、外国人登録者数も５千人を超えており、まちには“にぎわいと活気”が満ちあふれ都心中央区の魅力に一段と磨きがかかっております。

一方、世界に目を向けますと、イラクやアフガニスタンなどでの爆弾テロも依然として続くなど世界の平和を脅かす数々の問題が起きています。恒久平和の確立は人類繁栄の礎であり、世界の人々の切なる願いであります。国際理解の推進と国際交流の輪を世界に広げる貴協会の活動が、世界平和に貢献することを大いに期待いたしております。

今後とも、平和と活力ある社会をつくるため、日本の文化・商業・情報の中心として発展してきた都心中央区にふさわしい文化・国際交流事業を展開されますとともに貴協会のますますのご発展を心から祈念申し上げます。

協会20周年のあゆみ　年表

平成

3
- 5月 中央区文化・国際交流振興協会設立
- 7月 オーストラリア・サザランド市と姉妹都市提携調印
- 8月 外国客船歓迎式出席
- 10月 中央区文化・国際交流振興協会だより創刊号発行

4
- 5月 ホームステイ・ホームビジット開始
- 9月 文化講座開始
- 10月 ロビーコンサート開催（平成8年まで）
- 11月 古典芸能鑑賞会開始

5
- 2月 姉妹都市親善写真展開始（区役所、両特別出張所）
- 9月 ボランティアのための英会話（中央会館）
- 11月 国際交流のつどい開始（月島社会教育会館）

6
- 10月 外国紹介のつどい「スリランカの夕べ」（女性センターブーケ21）

7
- 3月 「オランダ現代美術その今日」（アートはるみ）

8
- 10月 姉妹都市提携５周年記念「オーストラリア・サザランド市紹介の夕べ」（日本橋社会教育会館）

9
- 7月 日本語指導者養成講座開始
- 10月 コンサート開始

10
- 6月 水曜日日本語教室開設（女性センターブーケ21）

13
- 10月 姉妹都市提携10周年記念「オーストラリア・サザランド市紹介の夕べ」（日本橋社会教育会館）

14
- 4月 日本語フォローアップ講座開始

16
- 12月 新潟県中越地震被災者支援・チャリティー・コンサート

17
- 3月 特別文化講演会の開始（ゴッホ展関連）NHKと共催

18
- 4月 事務局が区役所から新富分庁舎に移転
- 5月 土曜日日本語教室開設（協会講習室）
- 7月 国際交流サロン開始（協会講習室等）
- 8月 協会ホームページ開設
- 10月 姉妹都市提携１５周年記念「オーストラリア・サザランド市紹介の夕べ」
- 10月 木曜日日本語教室開設（協会講習室）





20
- 7月 日本語ステップアップ講座開始
- 8月 日本語指導者養成講座事前説明会開始
- 8月 文化振興プロデュースチームの設置
- 11月 中央区まるごとミュージアム開始（中央区と共催）

21
- 2月 国際交流サロンボランティア講習会・説明会開始
- 7月 第１回ボランティア総会開催
- 10月 協会支援日本語教室「月島日本語倶楽部」開設（月島社会教育会館）
- 10月 協会支援日本語教室「にほんご生活」開設（レインボーハウス明石）
- 12月 協会支援日本語教室「日本語おたすけたい」開設（日本橋社会教育会館）

23
- 3月 協会ホームページリニューアル
- 11月 協会支援日本語教室「日本語コミュニケーション・パートナー」開設（新富区民館）
- 12月 協会支援日本語教室「銀座日本語教室」開設（築地社会教育会館）
- 12月 協会創立20周年記念式典



古典芸能鑑賞会

平成 11 年の「日本橋劇場」開設を機に会場を固定し、中央区を中心に活躍されている古典芸能実演家による「中央区古典芸能の会」が企画・制作を担当しています。また、11 年は日本橋劇場落成記念として、15 年は江戸開府四百年記念として、昼と夜の二部構成で開催しました。

年度	内　容
4	「黒みす音楽」　「勧進帳」
5	「黒みす音楽」（忠臣蔵格段）「連獅子」
6	「お祭り」「文屋」「十六夜」
7	「明鳥」「新内流し」
8	「神路山色」
9	「黒みす音楽」 江戸風物と音　「越後獅子」
10	「お染」（上・下）　「お半」
11	**一部**　1．長唄 「雛鶴三番叟」 2．古曲 「猩々」 3．小唄 「獅子頭　川風に　さんさ時雨」　4．長唄 「勧進帳」 **二部**　1．義太夫 「寿万歳」 2．東明 「春の鳥」 新内 「子宝三番叟」 3．常磐津 「乗合船恵方萬歳」 4．清元 「四季三葉草」
12	1．講話 「幕末の中央区史蹟ばなし」 2．舞踊・小唄 「江戸の賑わい」 3．常磐津 「寿祝言式三番叟」 4．声色漫談 「猫八ばなし」 5．舞踊・清元 「玉屋」
13	1．講話 「中央区忠臣蔵こぼれ話」 2．舞踊 「阿蘭陀万歳」 3．落語 「宿屋の仇討ち」 4．舞踊・長唄 「元禄花見踊り」
14	1．新内 「安珍清姫　日高川　嫉妬の段」 2．講話 「江戸城古典芸能こぼれ話と忠臣蔵余話」 3．囃子・舞踊 「舞囃子」 4．落語 「井戸の茶碗」5．舞踊・清元 「深川女房」
15	**一部**　1．木遣り　2．小唄振 「江戸のにぎわい　上げ汐薩摩さ」3．講話 「江戸幕末よもやま話　お奉行様たちの日常」 4．落語 「孝行糖」 5．舞踊・長唄 「藤娘」 6．常磐津 「太田道灌　上の巻」 7．舞踊・清元 「お力」 **二部**　1．木遣り　2．小唄振 「江戸の賑わい　涼み船　薩摩さ」3．講話 「江戸幕末よもやま話　新撰組がゆく」 4．落語 「掛け取り」5．舞踊・長唄 「雨の五郎」 6．清元 「うかれ坊主」 7．舞踊・常磐津 「独学」
16	1．講話 「新撰組の旗はゆく」 2．太神楽 「江戸太神楽」 3．箏曲と語り 「花さき山」4．長唄 「鞍馬山」 5．義太夫 「五条橋」
17	1．講話 「江戸幕末中央区賑わい物語」 2．舞踊・清元 「流星」 3．宮園節 「箕輪の心中」 4．奇術 「高座マジック」 5．舞踊・小唄 「笠森おせん　朧夜」 6．落語 「稽古屋」
18	1．講話 「江戸幕末中央区賑わい物語　其の弐」 2．舞踊・長唄 「藤娘」3．落語 「長屋の花見」 4．舞踊・常磐津 「年増」
19	1．講話 「中央区江戸の川と橋よもやま話」 2．小唄 「雪月花」3．舞踊・清元 「三社祭」 4．江戸手妻 「蝶のたわむれ」 5．舞踊・義太夫 「櫓のお七」
20	1．清元 「彌生の花浅草祭り　三社祭」 2．落語 「唐茄子屋」 3．講談 「浅妻舟」 4．舞踊・常磐津 「京人形」 5．講話 「日本橋の大石内蔵助　中央区・忠臣蔵雑話」 6．箏曲 「六段の調」 7．舞踊・長唄 「連獅子」
21	1．講話 「江戸の町の文化について」 2．対談 「中央区の常磐津浄瑠璃今昔」 3．舞踊・大和楽 「明石町」 4．義太夫 「一谷嫩軍記　組討の段」5．舞踊・清元 「青海波」
22	1．講話 「中央区のお稽古ごとの歩み」 2．小唄振り 「河水、虫の音」 3．琵琶 「敦　盛」 4．曲芸 「太神楽」 5．舞踊・常磐津 「釣女」
23	1．新内流し　江戸の風物詩 「新内 蘭蝶（若木仇名草）」 2．江戸系あやつり人形 「獅子舞　ショ・ジョ・ジ」 3．落語 「尻餅」 4．舞踊・長唄「二人椀久」



コンサート

平成４年から８年まで区役所や区民センターでロビーコンサートとして開催。平成９年から 15 年は月島社会教育会館ホールで、16 年以降は日本橋劇場でコンサートとして開催しています。

年度	内　容
9	中央区制施行 50 週年記念　「これがジャズだ」
10	ビック・ジャズライブコンサート　浜田　均カルテット＆マリアエブ
11	ジャズって何に？音楽は楽しい
12	これがジャズだ？№２　ウィスリーとドリーベイカー
13	協会設立 10 周年記念　ジャズコンサート
14	区民に親しみやすい　フルート名曲コンサート
15	前田憲男とラテンファンタジー
16	オペラ・アリア名曲コンサート 「もう飛ぶまいぞこの蝶々」
17	三大テナーサックス 「夢の饗宴」
18	バイオリンとハープのエレガンスを楽しむ
19	前田憲男とヤングライオンズのジャズコンサート
20	白石啓太＆ラテンカルナバルのコンサート
21	二期会マイスタージンガー　歌の花束コンサート
22	雪村いづみコンサート　～　歌は私の恋人　～
23	日本橋ジャズナイト　ザ・ブルースカイカルテット



文化講座

年度	テーマ
4	月島築島 100 年記念　国際交流から見た中央区 ①江戸湊の話　②オランダ宿　長崎屋の話 ③築地居留地の話　④明治初期の洋風建築
5	国際交流から見た中央区 ①江戸のうた　アジアのうた　②文明開化を支えた人 ③外国人がみた中央区　④天下祭りと国際交流
6	食 ①文化コードとしての食事－日本の食・中国の食－　②江戸の食・明治の食　③磯野家の食事　④考古学から見た　日本の食
7	永遠の平和を願って ①現代の若者と若者文化　②戦後日本庶民の身なりの変遷 「サザエさん」をとおして　③中国映画から見た日中関係 ④中国系の世紀と日本
8	①京劇の向こうに見えるもの　②東京・パリ花のアーケード物語 ③江戸の辞書　④指紋の歴史と活用　日本の警察と外国の警察
9	中央区制施行 50 周年記念 ①アジア映画の魅力　②鎖国時代の日朝交流 ③区の誕生　④香港その歴史とパワー
10	病と治療の文化 ①はやり病　－江戸から東京へ－　②和漢の医療 ③カピタン鎖国日本を旅する　④近代医学の発達と中央区
11	①海の外から見た日本の家族　②アフリカの性意識と家族 人々の結びつきを考える　③現代中国の家族　④道具から見た男と女　Sexuality と Gender が産んだ道具の変化
12	古典芸能の魅力を探る ①その一　邦楽の魅力　　いきいき三味線音楽 ②その二　日本舞踊の魅力　出雲の阿国から現代創作舞踊まで ③その三　古典落語の魅力　隅田川落語のふるさと ④中央区幕末こぼれ話　維新の志士と中央区
13	中央区が産んだ近代日本の巨匠たち ①日本近代洋画と浅井忠 ②中央区が産んだ近代日本画の巨匠たち　Ⅰ ③中央区が産んだ近代日本画の巨匠たち　Ⅱ ④中央区が産んだ近代洋画の巨匠たち（岸田劉生を中心に）
14	①荷風が見た東京－中央区を中心に　1 ②荷風が見た東京－中央区を中心に　2 ③日本橋に生まれ育った女流作家　長谷川　時雨 ④問屋街の叙情詩人　立原　道造
15	江戸の人々に学ぶ ①落語から学ぶ江戸庶民の知恵 ②・③作家の眼から見た江戸庶民像　Ⅰ・Ⅱ ④江戸の人々に学ぶ
16	①やさしい能楽入門（１）　②やさしい能楽入門（２） ③近藤　勇と土方歳三　エピソードからみる新撰組局長と副長 ④私の下町ウオッチング
17	古典芸能の魅力にふれてみよう ①江戸時代の所作と現代の動き　「扇を使って簡単な踊りをやってみよう」 ②歌舞伎における鳴物の関わり　「鳴物の魅力」 ③お稽古風景　「清元・小唄入門」 ④長唄三味線の魅力　演奏　「長唄―喜三の庭」
18	日本の版画の歴史講座　～暮らしの中の版の絵から版画芸術への道程～ ①生活の中の版画色々　～奈良時代から室町 (祈りの版画）～ ②江戸の粋　～錦絵の登場・印刷技術の粋が集まる中央区界隈・描かれた中央区～ ③絵画芸術として登場した版画　～創作版画の登場・伝統木版画と浮世絵　モダーン～ ④国際的に活躍する日本の版画家達　～多様化する現代版画・中央区が生んだ版画家～
19	八丁堀と小伝馬町牢屋敷の虚実 ①江戸町奉行・大岡越前と遠山の金さん ②江戸の遊所・日本橋歌舞伎三座と旧吉原 ③与力・同心と捕り物帳の世界 ④牢屋敷と大江戸犯科帳
20	捕物帳の世界 ①岡本綺堂と半七捕物帳　②池波正太郎と鬼平犯科帳 ③捕物帳名作講談　④平岩弓枝と御宿かわせみ
21	ブリヂストン美術館で知る近代美術 ①モネとルノワール－印象派の精華 ②セザンヌとゴーギャン－ポスト印象派の光芒 ③マティスとピカソ－ 20 世紀美術の冒険 ④藤島武二と安井曾太郎－西洋美術の受容
22	古典芸能の楽しみ　日本舞踊やお囃子を体験してみませんか ①日本舞踊の魅力　～きものを着た動きを見てみましょう～ ②歌舞伎囃子の魅力　～小鼓・大鼓に触れてみましょう～ ③親子で楽しむ日本舞踊　～きものを着た動きを見てみましょう～ ④親子で楽しむ歌舞伎囃子　～小鼓・大鼓に触れてみましょう～
23	クラシックはじめの一歩～オペラとクァルテット～　昼・夜 ①メゾ・ソプラノで辿るオペラの楽しみ ②かんたん？むずかしい？クァルテットを知ろう！



特別文化講演会

年度	事　業　名
16	ゴッホ展
17	生誕 120 年 「藤田　嗣治展」
18	ギメ東洋美術館　浮世絵名品展
19	失われた文明 「インカ・マヤ・アステカ展」 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展 国宝　薬師寺展
20	北京故宮　書の名宝展 特別展「源氏物語の 1000 年　－あこがれの王朝ロマン－」 特別展「平泉～みちのくの浄土～」
21	ゴーギャン展 ボルゲーゼ美術館展 没後 400 年特別展 「長谷川等伯」
22	ドガ展 特別展「仏教伝来の道　平山郁夫と文化財保護」 特別展「写楽」（東日本大震災の影響により中止）
23	大英博物館　古代ギリシャ展

中央区まるごとミュージアム

区民や区外参加者が無料のバスや船で回遊しながら、民間の文化事業を含む様々な文化的な魅力を楽しんでいただくイベントを、中央区との共催で平成20年から開催しています。
４回目となる「中央区まるごとミュージアム２０１１～日常がアートになる街、誰もがアーティストになれる秋～」を、文化事業者・団体と連携を図りながら10月30日（日）に開催しました。当日の一部をレポートします。

この時期としては暖かく、過ごしやすい天候だったこの日、日本橋の沿道にはカメラを手にして待つ多くの人々の姿が。マーチングバンドや全国の伝統的な踊りが集結する、日本橋・京橋まつり「大江戸活粋パレード」は、まるごとミュージアムの中でも人気のイベントの１つです。第39回の今年は、東日本大震災の被災地、東北の伝統芸能によるパレードや物産支援も行い、東北復興も応援しました。パレード中盤には、福島県の伝統行事「相馬野馬追」が登場。本物の馬に乗った武者が堂々と練り歩く様に、沿道の人から大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

パレードを観ながら日本銀行に立ち寄ると、玄関前の広場にはクラシックカーがずらり！　イベントに合わせて展示されたこれらの貴重なオールド車は、レトロな日銀の建物に映え、まるで昔の映画のワンシーンを観ているようでした。日本銀行で開催された「にちぎん体験2011」では、本店本館内に特設した展示室において、企画展“あの頃の風景～日銀と日本橋の出会い”を開催したほか、日本銀行に関わる４つのテーマについて日銀職員が詳しく説明する市民講座も開催。また、通常平日のみに実施している本店本館の見学ツアー（予約）も毎年好評を呼んでいます。

今年で架橋100周年を迎えた日本橋。改めてこの橋の魅力を発見しようと、無料船による日本橋周遊ツアー（常盤橋防災船着場発着）にも長い行列が。記者もさっそく体験してみました。ツアー時間は約20分。リバーガイドの解説を聞きながら、常盤橋から日本橋まで、日本橋川にかかる５つの橋を巡ります。

普段、買い物や仕事で日本橋はよく渡りますが、真下から橋を眺めるのは初めてのこと。どっしりとした御影石の造りや、橋に飾られた繊細な獅子像や麒麟像など、間近で見たその重厚な佇まいに100年という歴史を改めて感じさせられました。川端にある三菱トランクルームなど、有名な建築物やおなじみの街並みも船上から見ると新鮮に映り、短い時間ながらとても楽しめたツアーでした。

船から降りると、今度は無料バスで晴海へ。アートはるみでは「絵本で、音楽で、元気になろう～東日本の子どもたちとつながって～」というイベントを開催。いとうひろし氏の絵本原画のほか、東日本の子どもたちが書いた630枚のはがきメッセージなども展示。東日本大震災以降、さらに強くなった「つながり」や「共感」の気持ちをキーワードにした展示に、お子さんからお年寄りまで熱心に見入っていました。

創立10周年を迎えた晴海トリトンスクエアでは、毎年恒例の「インフィオラータ」のほか、２Ｆのロビーではシャンソンの魅惑的なショーも。街歩きから音楽まで、今年も中央区の幅広い文化をじっくり知って、楽しめる有意義な１日を満喫できました。


架橋100周年記念パレード「相馬野馬追」


日本橋周遊ルートで水辺からの風景を堪能


晴海トリトンスクエア　インフィオラータ


東北の子ども達が書いたはがきのメッセージ


フランス原語で聞けるシャンソン

国際交流のつどい

平成５年から月島社会教育会館（改修中の21，22年は築地社会教育会館）で毎年１回、多くのボランティアの協力を得て開催しています。平成５年の参加者は113名で、23年には455名に増加しています。写真で実施状況を振り返りました。


生け花（平成５年）


集合写真（平成７年）


お茶（平成９年）


踊り（平成10年）


折紙（平成13年）



多文化発表会（平成14年）


お茶（平成15年）


着付け（平成17年）


生け花（平成18年）


フォークダンス（平成19年）


墨絵（平成19年）


懇談〔紅茶・トック等〕（平成20年）


着付け（平成21年）


日本の遊び・外国の遊び（平成22年）


風呂敷（平成22年）

日本語教室

協会主催教室

現在、協会主催教室３教室、協会支援教室３教室の６教室が活動しております。さらに、協会支援教室２教室（日本語コミュニケーション・パートナー、銀座日本語教室）が 23 年 11 月と 12 月に新しくスタートしました。

水曜日教室



授業開始は午後 6 時 30 分。1時間前には教室設営係が入室、コーディネーターは席を配置、5 分間のミーティングを経て授業が始まる。その日の様子は当番が日誌に記録する。

中央区の外国人人口が千人に満たなかった 13 年前に発足した水曜クラスだが、学習者も中国残留者が多くを占めた当初から様変わりした。社会情勢を肌身に感じるのも国際交流の現場に携わっている者ならではの実感である。ボランティアの大半が勤務先から直接教場に駆けつける現役ゆえ、仕事との狭間で止むを得ずの欠席、休会へと移行する現実がある。

どんな状況であろうと、柔軟なフォーメーションを組んで、学習者のために良質な授業を図ることが近くて遠い目標となっている。

（代表　鈴木初実）

木曜日教室



木曜日の日本語教室は、新富分庁舎三階で午前10時より11時45分まで開いています。「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」のテキストを使い学習者と交流員の対面式で授業をしています。

午前中の教室ですから、学習者の中には子供連れで参加される方も多く、そのため保育の用意があります。折々に、懇親会を開いて学習者との交流が深まるよう努めています。

学習者の方々には、日本語の学習を通じて日本語でのコミュニケーションを楽しみ、そして日本の文化や歴史に興味を持って、幅広く『日本』を理解していただきたいと思います。また、学習者との会話の中で交流員の方も相手の国について学ぶ機会をいただいています。

（代表　古角園恵）

土曜日教室



土曜日教室は、月 3 回、午前 10 時～12 時に協会講習室で開いています。土曜日のせいか、学習者・指導者とも在籍者が全て出席とはいかない事が悩みです。3 月の震災を機に辞めてしまった方もあり、一時、出席数が減りましたが、近頃は新しい学習者と指導者が増え、出席者は合計で 30 名程度です。

当教室では、単に日本語能力を高めるだけではなく、暮らしに役立つ情報も伝えることを心がけています。通常の学習はもとより、年に 3 回程度行う懇親会でも、生活に役立つ会話や知識が楽しく身に着くように、プログラムを工夫しています。

これからも、区民ボランティアが開催する教室の良さを発揮できるよう、皆で協力して活動していく所存です。

（代表　青柳恵美子）

協会支援教室

日本語おたすけたい



日本橋地区としては初めてのボランティア主催の日本語教室で、2010 年の 1 月に開設しました。教室は月曜日 19 時～20 時 30 分まで、15 分間のティータイムを含みます。クラスはレベルや希望により少人数のグループで行ない、ティータイムは全体でフリートークを楽しみ、リフレッシュタイムとしています。

また日本料理の紹介など学習者、ボランティアの親睦を深める目的で、年 2 回のイベントを行なったり、日本橋近辺の名所などの紹介や日本文化の紹介などもクラスの授業の中に取り入れて楽しい、暖かな雰囲気の教室になるよう心がけております。

学習者の皆さんが日本の生活を楽しめるよう日本語教室を通してサポートしていきたいと思っています。

（代表　久能木健二）

月島日本語倶楽部



月島日本語倶楽部は 2009 年 10 月、同年に協会が開催した日本語指導者養成講座の修了生3名を中心に立ち上げた小さな教室でした。当時は「学習希望者がひとりでもよいからゆっくりやって行こう」という基本原型だけで、会則などは時間とともに本当に少しずつ整えながら進んできました。現在は登録指導者 7 名、学習者 10 名程度の規模で活動しています。

平日午前の 2 時間という活動の中で、全員がひとつのテーブルを囲んでお茶を共にする 30 分のモーニングティータイムは立ち上げ時から続いている特長であり、レベルを超え学習者全員が日本語でコミュニケーションを図る大切な時間です。

学習者の大半は女性です。中でも既婚で主婦の方が多いので、託児の体制を整え、乳幼児を連れての学習を可能にするのが当面の目標です。（代表　小林 智）

にほんご生活



日本語教室「にほんご生活」は2年前の 10 月 10 日に開講。現在は明石町の「レインボーハウス明石」の 5 階で毎土曜日午後 2 時から 3 時 45 分まで教室を開いています。指導者は 11 人、学習者は 21 人。国籍も年代も多種多様ですが、それぞれのニーズと日本語力に合わせながら、「初級」、「中上級」「検定グループ」、「ビジネス会話グループ」、「子供の学習支援」など多岐にわたる指導をしています。

開校当初は学習希望者が来てくれるか不安でした。最初の人がやって来た時の嬉しさと不安の混ざった興奮を忘れることができません。以来 3 月 11 日の震災直後の土曜日も含め、休まず開校。学習者の期待に応えたいと、初心を忘れずに、そして異文化交流の楽しさを感じながら、日々、試行錯誤を重ねています。

（代表　田原教子）

国際交流サロン

協会が講習室を備えた新富分庁舎に移転した平成 18 年から、国際交流のつどい開催月を除いて年 11 回開催しています。会場は、講習室が中心となっていますが、テーマにより社会教育会館の料理教室や屋外で開催することもあります。写真で実施状況を振り返りました。



サロンスタート　七夕まつり（平成 18 年 7 月）



お話し（平成 19 年 4 月）



お月見（平成 19 年 9 月）



浜離宮庭園ツアー（平成 20 年 5 月）



地震だ！（平成 20 年 8 月）



生け花（平成 21 年 1 月）



サルサダンス（平成 21 年 2 月）



七夕まつり（平成 21 年 7 月）



スポーツ交流会（平成 21 年 9 月）



防災訓練（平成 21 年 12 月）



お菓子パーティー（平成 22 年 4 月）



もんじゃワールドカップ（平成 22 年 6 月）



和菓子に親しもう（平成 23 年 1 月）



墨絵に挑戦（平成 23 年 8 月）



ハロウィン（平成 23 年 10 月）

中央区

ひと　粋・活き

中央区女性海外研修者の会

海外研修で得た経験を生かし、環境や福祉、国際交流など様々な地域活動を行っています



ブーケ祭り（平成 22 年）

●プロフィール

1987 年、中央区では婦人問題解決のための行動計画を策定。それを受けて、翌年、公募により選考された女性２人が第１期生としてヨーロッパへ研修に。1990 年には「中央区女性海外研修者の会」を創立。海外派遣は 1988 年から 2003 年まで続き、その間に派遣された女性は 15 期、69 名におよぶ。現在は研修の成果を生かし、ボランティアやネットワークの輪を広げて各種の団体を立ち上げ、その中心になって様々な地域活動を行っている。

シリーズで、文化振興・国際交流の推進に活躍している方や団体をご紹介します。

創立して今年で 21 年。女性の細やかで柔軟な視点を生かして、様々な地域活動を行い、区の活性化に貢献している「中央区女性海外研修者の会」。会員の方々に、同会設立のきっかけや現在の活動内容についてお話をうかがいました。

こちらの会はどのような経緯で発足されたのでしょうか。

国連は 1975 年を国際婦人年と定め、第１回世界女性会議をメキシコシティで開催しました。日本でもこの年に内閣の中に婦人問題企画推進本部を設置。それを受けて、都でも 1977 年に東京都婦人問題会議という活動が始まりました。その後、国内でも男女共同参画社会の実現が徐々に進み、機運が熟した 1987 年、中央区でも婦人問題解決のための行動計画を策定。翌年の 1988 年、その計画の一環として、２名の女性がヨーロッパに派遣されました。

その後、毎年１回海外研修を行うことになり、1990 年、研修者たちで「中央区女性海外研修者の会」を結成することになりました。

どのような国に行かれたのですか？

イギリス・フランス・スウェーデンなどヨーロッパを中心に、オーストラリア・アメリカその他を含め総じて 20 カ国に行ったことになります。参加したのは中央区で様々なボランティア活動をしていた人が各会より一般公募に応募して選考に受かった人達です。現地では福祉施設や女性を支援する学校を見学したり、女性団体の方たちとディスカッションするなど、大変実りある研修をさせていただきました。海外派遣は 2003 年まで続き、15 年間で 69 名の人が参加しています。

現在はどのような活動をされているのでしょうか。

貴重な経験をさせていただいたので、会員たちはみな「研修の経験を生かして、地元の役に立ちたい」という使命感を強く持っています。現在は研修で得た積極性や会員たちのネットワークを生かして、様々な地域活動を行っています。「ブーケ祭り」や「大江戸祭り」、外国人の方をゲストに招いて各国の家庭料理を紹介する「台所から世界が見える」など、中央区の活性化や国際交流に協力させていただいています。



中央区女性海外研修者の樹
その根は地域活動、幹は中央区女性海外研修者の会、
枝・葉は更なる地域活動へ発展



大江戸祭り（平成 22 年）



台所から世界が見える（平成 22 年）

平成 22 年度の事業報告と決算

平成 22 年度事業報告

平成 23 年６月 16 日に開催された理事会において、平成 22 年度の事業報告並びに収支決算が審議され、承認されましたのでその概要を報告します。

Ⅰ　文化振興事業

（1）機関誌の発行

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行。

発行部数　5,500 部 A4 版
発行回数　年２回（７月、12 月）

（2）ホームページの運営

ホームページを適宜更新して、事業紹介やイベント等の情報を提供しています。
また、ホームページを開設して５年になるので大幅な見直しを行いました。
ＵＲＬ：http://www.chuo－ci.jp/

（3）コンサートの開催

日　　時　10月8日（金）午後6時40分開演
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内　　容　雪村いづみコンサート「歌は私の恋人」
出 演 者　雪村いづみ、ゲスト　朝比奈マリア、ピアノ　大貫祐一郎
入 場 者　３７５名
参 加 費　1,500 円

（4）文化講座の開催

日　　時　第１部　９月 21 日、28 日（火）午後６時 30 分～８時
第２部　10 月２日、16 日（土）午後２時～３時 30 分
会　　場　築地社会教育会館　講習室
内　　容　**第１部**　体験ワークショップ「古典芸能の楽しみ」
・「日本舞踊の魅力」着物を着た動きを見てみましょう
・「歌舞伎囃子の魅力」小鼓・大鼓に触れてみましょう
第２部　親子で楽しむワークショップ「古典芸能ってなあに？」
・「親子で楽しむ日本舞踊」着物を着た動きを見てみましょう
・「親子で楽しむ歌舞伎囃子」小鼓・大鼓に触れてみましょう
講　　師　中央区古典芸能の会　花柳典幸、堅田新十郎、ほか
参 加 者　延７８名

（5）特別文化講演会の開催

展覧会に関連し，ＮＨＫとの共催により開催しました。

①「ドガ展」関連

日　　時　11 月 15 日（月）午後７時～
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
演　　題　エドガー・ドガ　印象派の中の位置づけをめぐって
講　　師　小泉　順也（東京大学グローバル COE 特任研究員）
参 加 者　245 名

②「仏教伝来の道　平山郁夫と文化財保護」関連

日　　時　平成 23 年１月 28 日（金）午後７時～
会　　場　月島社会教育会館　ホール
演　　題　仏教伝来の道
講　　師　浅見　龍介（東京国立博物館学芸研究部調査研究課東洋室長）
参 加 者　192 名

③「写楽」関連

日　　時　平成 23 年３月 18 日（金）午後７時～
会　　場　月島社会教育会館　ホール
演　　題　特別展「写楽」にみる写楽の魅力
講　　師　田沢　裕賀（東京国立博物館絵画・彫刻室長）
応 募 者　264 名
【東日本大震災の影響により中止。なお、特別展「写楽」の招待券については、３月３１日までにハガキと引換に配付した。引換者２１３名】

（6）古典芸能鑑賞会

日　　時　６月 19 日（土）午後５時開演
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内　　容　講話、小唄振り、琵琶、曲芸、舞踊・常磐津
入 場 者　291 名
参 加 費　2,000 円

（7）文化推進事業助成

区民が主体となって行う文化振興事業の後援及びその事業の実施に要する経費の一部を助成しました。
件　　数　後援 20 件（うち助成 16 件）

（8）中央区まるごとミュージアムの開催

中央区との共催で文化・芸術の秋の１日に、区民等がパンフレット等を手にバスや船で回遊しながら、中央区のさまざまな文化的な魅力を楽しみ享受できる文化イベント（第３回）を実施しました。
日　　時　10 月 31 日（日）
場　　所　中央区全域
実施結果
①バス乗車人数（区内巡回、左右の２ルート。江戸バス無料）合計 4,683 名
②乗船人数（日本橋周遊、箱崎～晴海、明石町周遊の３ルート）
合計 2,825 名
③参加者アンケート　2,058 名
④主なイベントの参加人数　延べ 54,200 名

（9）文化振興プロデュースチーム

中央区文化振興プランの提言に基づき、区民（企業、ＮＰＯ等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成 20 年度に文化の専門家等からなるプロデュースチームを設置しました。
今年度は、中央区で新規に実施する文化事業助成制度について検討しました。また、まるごとミュージアム 2010 の事業者連絡会にも出席し、中央区全体の文化事業の推進について協議を進めました。

Ⅱ　国際交流振興事業

（1）国際交流のつどい

日　　時　11 月 27 日（土）正午～午後４時
会　　場　築地社会教育会館
内　　容
①日本文化体験コーナー
・着付け、茶道、生け花、墨絵、折り紙、風呂敷
②懇談コーナー（紅茶・料理）
③国際交流サロン（書道ワークショップ）
④土曜日日本語教室コーナー（日本の伝統的遊び・外国の遊び）
⑤インドサリー展示コーナー
⑥フランスの音楽・踊りコーナー
⑦防災・防犯コーナー
⑧踊りのコーナー（盆踊り・インド古典舞踊）
⑨受付・情報提供コーナー
参 加 者　338 名（外国人 71 名、日本人 105 名、ボランティア 150 名ほか）

（2）ボランティア活動支援

協会登録ボランティアの活動強化、ボランティア間並びに協会との連携強化等を図るため講習会や連絡会を開催しました。
①協会主催日本語教室ボランティア意見交換会
・７月 17 日（土）午前 10 時～
・出席者数　　８名
②ボランティア研修会
・９月４日（土）午後１時３０分～
・出席者数　　25 名
③日本語ボランティアのための無料専門家相談会
・平成２３年２月２２日（火）
・出席者数　　５名
④国際交流サロンボランティア講習会
新規のサロンボランティア募集説明会に併せ、既存のボランティアとボランティア希望者を対象に講習会を開催しました。
・平成 23 年２月 26 日（土）午後１時 30 分～
・出席者数　23 名
⑤ボランティアの派遣
・通訳ボランティア　１名
・イベントボランティア　15 名
・ホームステイ・ホームビジットボランティア 1名

（3）姉妹都市親善写真展

中央区とサザランド市が相互の写真を交換し、23 年２月に区役所１階ロビー、日本橋特別出張所ロビー、月島特別出張所コミュニティフロアで順次開催しました。

（4）日本語教室

区内在住・在勤の外国人を対象として、協会ボランティアによる日本語の指導と学習者との親睦を図るための交流会を開催しました。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティア主催による教室の開設・運営について支援を行いました。

［協会主催の日本語教室］

①水曜日教室

日　　時 毎月第一・第二・第三水曜日 午後６時 30 分～８時
会　　場 女性センター「ブーケ 21」
登録者数 外国人 55 名、ボランティア　28 名
参加者数 外国人 延 654 名、ボランティア 延 629 名

②木曜日教室

日　　時 毎月第一・第二・第三木曜日 午前 10 時～ 11 時 45 分
会　　場 協会講習室
登録者数 外国人 41 名、ボランティア 17 名
参加者数 外国人 延 470 名、ボランティア 延 432 名

③土曜日教室

日　　時 毎月第二・第三・第四土曜日 午前 10 時～ 12 時
会　　場 協会講習室
登録者数 外国人 44 名、ボランティア 25 名
参加者数 外国人延 435 名、ボランティア延 362 名

［協会が支援する日本語教室］

①日本語おたすけたい

日　　時 月曜日（月３回）午後７時～９時
会　　場 日本橋社会教育会館
登録者数 外国人 14 名、ボランティア 11 名
参加者数 外国人延 112 名、ボランティア延 178 名

②月島日本語倶楽部

日　　時 毎週火曜日 午前 10 時～ 12 時
会　　場 月島社会教育会館
登録者数 外国人 18 名、ボランティア 16 名
参加者数 外国人延 228 名、ボランティア延 269 名

③にほんご生活

日　　時 毎週土曜日 午後２時～３時 30 分
会　　場 新富区民館または協会講習室
登録者数 外国人 36 名、ボランティア 14 名
参加者数 外国人延 445 名、ボランティア延 315 名

(5) 国際交流サロンの開催

外国人と日本人が気軽に交流が出来、日本語の会話や日本の文化に触れることが出来る場を提供するため、ボランティアの協力を得て「国際交流サロン」を年１１回開催しました。

実 施 日 毎月第２～第４土曜日の１日（９月を除く）
時　　間 原則として午後１時 30 分～３時 30 分
会　　場 協会講習室他
内　　容 お菓子パーティ、MOTTAINAIについて、もんじゃ、七夕で浴衣、お茶を体験、ハロウィン、バーベキュー、防災、和菓子、ひな祭り、築地散策
参 加 者 外国人 延 156 名、日本人 延 128 名、ボランティア 延 124 名

(6) 外国客船歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船の入港時の歓迎行事に参加し、記念品を贈呈。

入 港 数 １隻（再入港）

(7) 国際交流推進事業助成

区民が主体となって行う国際交流事業の実施に際して後援するとともに、その活動に要する経費の一部を助成しました。

件　　数 ３件（うち助成２件）

(8) 日本語指導者養成講座

日本語教室への受講希望者の増加や多様化する要望に対応するため、協会主催の日本語教室やボランティアが自主的に運営する日本語教室で指導者になりたい方、または、ボランティア日本語教室を自分で開設・運営したい方を対象に日本語指導者養成講座を開催しました。

日　　時 ７月 29 日、31 日、８月５日、７日、19 日、９月 18 日、22 日　計７日間　計 20 時間　水・木曜日は、午後６時４５分～８時４５分　土曜日は、午前１０時～午後３時（途中休憩１時間）
会　　場 協会講習室
受 講 者 35 名

(9) 日本語フォローアップ講座

外国人に日本語を教えるボランティアの指導力を高めるため、フォローアップ講座とステップアップ講座を開催しました。

①フォローアップ講座

㋐　21 年度養成講座修了者対象
日　　時 ４月 23 日、24 日、５月 14 日、15 日。金曜日は午後６時 45 分～８時 45 分。土曜日は午後１時～３時。
会　　場 協会講習室
講　　師 西川寛之（明海大学外国語学部講師）
受 講 者 延 50 名

㋑　22 年度養成講座修了者対象
日　　時 ９月 25 日、30 日、10 月７日、28 日、11 月４日、11 日、18 日。木曜日は午後６時 45 分～８時 45 分。土曜日は午前 10 時～午後３時（途中休憩１時間）。
会　　場 協会講習室
講　　師 西川寛之（明海大学外国語学部講師）
受 講 者 延 137 名

②ステップアップ講座

日　　時 ６月 26 日、９月 29 日、10 月 16 日、12 月 18 日、平成 23 年１月 26 日、２月 23 日、３月 12 日。全７回。水曜日は午後６時４５分～８時４５分。土曜日は午後１時～３時。
会　　場 協会講習室
講　　師 （社）国際日本語普及協会へ講師派遣を委託
受 講 者 延 129 名

※個人情報の保護に関する規定に基づく平成 22 年度の請求等の実績はありませんでした。

平成 22 年度決算

＜収入＞

科　目	決算額（円）	説　明
事業収入	1,298,700	古典芸能鑑賞会、コンサート参加費
区補助金	89,912,000	中央区からの補助金
寄付金	50,000	
雑入	9,346	預金利子
収入合計	91,270,046	

＜支出＞

科　目	決算額（円）	説　明
事業費	46,376,825	
文化振興費	41,648,772	中央区まるごとミュージアム、機関誌発行、古典芸能鑑賞会、コンサート、文化講座、文化推進事業助成
国際交流振興費	4,728,053	国際交流のつどい、日本語教室、国際交流サロン、日本語指導者養成講座
管理費	34,092,437	
人件費	30,208,506	職員の給与
管理運営費	3,883,931	理事会、事務費
予備費	0	
合　計	80,469,262	
区返還金	10,800,784	中央区補助金の精算返納
支出合計	91,270,046	

当協会もお陰様で 20 周年を迎えることができました。これもひとえに皆さま方のご理解、ご協力の賜と心より御礼を申し上げます。協会ボランティアの皆様には特にお世話になっております。12 月 11 日には、協会創立 20 周年記念式典を開催し、記念講演会、記念式典、祝賀会を行います。式典では 10 年以上の永年活動ボランティアの方々へ区長、理事長連名による感謝状を贈呈します。今後ともよろしくお願いいたします。

当機関誌は協会創立 20 周年記念号として、20 周年のあゆみを特集いたしました。文化事業の内容や国際交流事業は写真でも振り返りました。「ひと　粋・活き」では、中央区女性海外研修者の会の活動につきましてお話を聞きました。

「中央区まるごとミュージアム 2011」は第４回目となり、本年もたくさんの方々のご参加をいただきありがとうございました。

発行／中央区文化・国際交流振興協会　〒 104-0041　東京都中央区新富 1-13-24　新富分庁舎 3F　TEL 03-3297-0251　FAX 03-3297-0253　URL: http://www.chuo-ci.jp/